



矢崎環境取り組みプラン(2017年度の実績・評価と2018年度の目標)

継続的な改善の実施 評価基準 ○:目標達成度100% △:目標達成度90%以上 ✕:目標達成度90%未満

項目	めざす状態・目的	達成年度	2017年度の実績	評価	2018年度の目標
環境マネジメントの充実					
環境コミュニケーション	ステークホルダーとの双方向のコミュニケーションを通じ、企業改善が継続的に実施されている状態	継	● 生産事業所にてサイトレポート発行およびステークホルダーミーティング実施	○	● 生産事業所でのサイトレポート発行とステークホルダーミーティング実施の継続
環境教育	全従業員に環境意識が浸透し、自らの意思で環境取り組みを実施できる状態	継	● 地域、拠点、部門ごとに環境教育実施(受講者数 13,744名)	○	● 地域、拠点、部門ごとに環境教育の継続
環境コンプライアンス	各拠点に適用される環境法令の把握と法遵守のために定期的な監査が実施され、監査結果に応じた改善により、コンプライアンス体制が強化されている状態	継	● 各地域の監査計画に基づき実施	○	● 定期的な監査の継続 ● SOC測定体制のグローバルでの維持管理
	製品含有化学物質の法的要求および顧客要求を遵守するための体制が確立されている状態	2018	● 各地域が保有しているIMDSデータの一元管理を推進中	△	● 日米欧のITシステムおよびデータの統合
	グローバルで統一された材料データの管理システムが運用されている状態				
サプライチェーンにおける環境管理の強化	環境管理に関する課題を仕入先と共有し、PDCAサイクルが回っている状態	2018	● 矢崎グリーン調達ガイドライン改訂版ドラフト作成(2018年10月発行)	○	● 矢崎グリーン調達ガイドライン改訂の作成と仕入先への展開
ISO14001規格改訂への対応	ISO14001:2015年版の規格に応じた仕組みの見直しができている状態	2018	● 全地域、拠点の2015年版審査計画進捗率100%	○	● 2018年9月までに移行完了 ● 定期的な審査を継続
生物多様性への配慮・貢献	生物多様性の取り組みが共有され、地域、事業所の特徴に合わせた活動が継続されている状態	継	● 各地域で設定した目標を達成	○	● 地域、事業所ごとに計画した活動の実施
地球温暖化への対応					
CO ₂ 排出量の削減	グローバルで2020年度までにCO ₂ 原単位を2010年度比で20%削減	2020	● グローバルでCO ₂ 排出量原単位:2010年度比33.8%削減	○	● グローバルでCO ₂ 原単位を2010年度比で18%削減
再生可能エネルギー活用の推進	再生可能エネルギーの取り組みが共有され、地域、事業所の特徴に合わせた活動が継続されている状態	継	● 各地域の活動事例をグローバルで共有	○	● 地域ごとに適用可能な再生可能エネルギーの調査
循環型社会形成のための資源有効活用の推進					
排出物の削減	各地域の排出物削減が継続的に推進されている状態	継	● 各地域で設定した目標を達成 ● 国内全事業所の廃棄物量:2010年度比13.2%削減(前年実績維持の未達)	△	● 地域、事業所ごとに計画した活動の実施 ● 国内全事業所の廃棄物量を2010年度比13.2%削減(2017年度実績を維持)
水資源の有効活用と影響の最小化	各地域での水資源(量、水質)の有効活用および改善活動が継続的に推進されている状態	継	● 各地域での取り組み活動事例の共有 ● 各地域で設定した目標を達成	○	● 地域、事業所ごとに計画した活動の実施
環境負荷物質への対応					
EU-ELV指令およびEU-RoHS指令への対応	欧州ELV指令におけるANNEX IIへの確実な対応(適用除外項目の切り替えを計画通り進めること)	2020	● 新規開発品における4%以下の鉛を含有する銅合金の使用禁止を決定	○	● 新規部品および製品への不使用の確認
特定フタル酸エステル4物質の切替対応(REACH規則・認可対象物質への対応)	原材料および製品中の特定フタル酸エステル認可対象4物質の廃止	2018	● 切替計画に基づき実施	○	● 2018年12月切替完了 ● 在庫品の隔離および確認
デカBDEの切替対応(POPs条約、化審法への対応)	法令遵守および顧客要求への確実な対応	2017	● 顧客要求に沿って対応を完了	○	—
中国車室内VOC規制への対応	車室内VOCの顧客要求が把握され、対応が明確になっている状態	2017	● 開発段階における車室内VOC対応ルールの設定完了	○	—
VOC排出量の削減(事業所)	生産事業所においてVOC排出量を2000年度比で30%削減	2020	● 総排出量を2000年度比で53.3%削減	○	● 総排出量を2000年度比30%削減の維持
環境配慮型製品の開発					
環境配慮設計の推進	温暖化、資源循環、環境負荷物質を考慮した製品の開発および設計が行われている状態	継	● 環境配慮型製品認定規定に基づく環境配慮型製品の認定件数:24件	○	● 環境配慮型製品認定規定に基づく環境配慮設計の実施